

日本共産党 市議会報告

14年4月14日 第1286号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子
入船4-3-14
☎355-8526
minamotonton@j.com.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里
北栄2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@j.com.home.ne.jp

市議会議員
美勢 麻里

雪対策 除雪・排雪の対策強化を

浦安は、24時間の降雪の深さが5cmですと大雪注意報が発表されています。

2月は、8日と14日の2度にわたり大雪となりました。

昨年、浦安市の成人式当日の大雪では、雪かきをしなかつた集合住宅が多く、翌日、通路がアイスバーンとなり、歩行が困難になりました。

今年度は、融雪剤を確保し、液状化で購入したスコップをいつでも使えるように設置するなど、個別に準備・対応をしてきました。

スコップ・融雪剤の確保、購入の助成を

「融雪剤は一回分しか用意をしていなかつた、一週間に二回大雪になるとは」と困惑しながら除雪作業をする住民の中に

45年ぶりの大雪

浦安は、24時間の降雪の深さが5cmですと大雪注意報が発表されています。

2月は、8日と14日の2度にわたり大雪となりました。

昨年、浦安市の成人式当日の大雪では、雪かきをしなかつた集合住宅が多く、翌日、通路がアイスバーンとなり、歩行が困難になりました。

今年度は、融雪剤を確保し、液状化で購入したスコップをいつでも使えるように設置するなど、個別に準備・対応をしてきました。

浦安市には、豪雪地帯のようないわゆる大型除雪車は所有されていません。

小型の特殊自動車を活用して橋梁の除雪は行われましたが、幹線道路や生活道路は除雪されず、車が通つて道に残した車輪の跡がワダチとなり、溶けるまで数日かかりました。

日本共産党に寄せられた「雪捨て場が無く困った」「道

は、チリトリを使用して除雪をしたという方も大変多かつたのが現状です。

2月は、スコップや融雪剤が品薄となり、店舗には売り切れの張り紙が出され、入荷の目処もたつていませんでした。

市として、スコップや融雪剤の確保と購入のための助成が必要ではないでしょうか。

今年の降雪量は、交通機関だけでなく住民の生活にも大きな影響を及ぼしました。

「お向かいの80代の一人暮らしの女性は、3日間外に出でない」など、安否を心配してご近所で雪かきなどを協力しながら行っていた自治会からは、「高齢化が進み、除雪のボランティアを派遣してほしかった」という要望をいただきました。

ところが、市は、ボランティアの派遣ではなく、「まずは地域の連携」を重視する考えであると答弁しました。

浦安市社会福祉協議会には、昨年10月から、災害ボランティアセンターが常設で設置されており、市からも人件費や資材、災害に備えた器材等の購入費が投入されています。

大雪という災害にも機能するべきではないでしょうか。

今年2月に、浦安市内は積雪20cm以上の大雪が降り、交通機関がストップし、市民は自宅周辺の雪かきに追われました。

3月議会では、雪対策の強化を求めました。

除雪ボランティアの派遣を

路は市で除雪してほしかった」など、住民からの道路の除雪や排雪を求める要望も3月議会で市に求めました。